

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	1 社会教育総務費	55,956千円	55,454千円
担当課決算額				55,956千円	55,454千円

○人件費 47,893千円 一般職 8人

○男女共同参画推進事業 440千円

・男女共同参画関係啓発活動 116千円

男女共同参画社会の実現に向けて、講演会等の啓発活動を展開しました。

男女共同参画講演会(地区公民館と連携しての講演会)

6月13日 まなびタウン会場 参加者119名

男女共同参画啓発ミニコンサート(地区公民館祭でのミニコンサート)

2月 1日 赤碕小学校会場 参加者200名

旧以西小学校会場 参加者150名

2月 8日 旧安田小学校会場 参加者150名

船上小学校会場 参加者150名

また、北栄町・湯梨浜町と3町合同で作成した、男女共同参画啓発TCCミニドラマ「十人十色物語～笑顔で認めあって、～」を6月の男女共同参画週間前に再放送しました。

・男女共同参画推進啓発委託事業 205千円

男女共同参画社会の実現を図るため、女性団体連絡協議会に男女共同参画啓発事業を委託実施しました。

10月18日 まなびのつどい 参加者210名

・琴浦町男女共同参画推進会議 119千円

男女共同参画社会の実現に向けて、研修会開催等の会が行う活動に補助を行いました。

主な事業

10月31日 琴浦町男女共同参画フォーラム 参加者109名

10月11日～12日 日本女性会議参加(札幌) 参加者 1名

「成果」 広い地域・内容・世代を対象とした啓発・学習活動を行うことができました。

「課題」 男女共同参画については、まだまだ啓発が十分とは言えない現状があり、今後も様々な機会を捉えて啓発推進を図る必要があります。

○社会教育振興 3,639千円

社会教育関係団体へ財政支援、情報提供等を行い、地域住民による自主学習活動を推進し社会教育団体を育成しました。

社会教育委員会 委員10人 8月7日、3月24日開催

社会教育関係団体財政支援

負担金：県社会教育協議会負担金

県社会教育委員連絡協議会負担金

郡社会教育協議会負担金

県子ども会連合会負担金

補助金：町連合婦人会補助金

町青年団補助金

PTA連合協議会補助金

東伯・赤碕文化協会補助金

青少年健全育成協議会補助金

「成果」 社会教育関係者や、社会教育団体の育成を図ることができました。

「課題」 生涯学習への幅広い参加を進めるためのきっかけとなる仕組みづくりが課題です。

○生涯学習センター展示事業

各種グループの町民作品展では、活動者の発表の場を提供し、創作意欲の向上を図ると共に、来場者に、芸術文化に触れる機会を、さらには新規活動者を獲得する機会をつくり、芸術文化の振興を行いました。

- ・寿大学園芸コース作品展(5月10日～11日)
- ・琴浦町俳句展(5月14日～21日)
- ・カブトムシ展(7月17日～8月8日)
- ・寿大学表具コース作品展(5月15日～20日)
- ・竹細工教室作品展(5月15日～20日)
- ・おしゃべりサロン作品展(5月15日～20日)
- ・中原勇「近作展」(12月2日～10日)
- ・絵手紙サークル作品展(毎月第3土曜日から図書館本館、分館交互に展示)



作品展

「成果」多くの来場者に芸術に触れる機会を提供すると共に、活動団体育成ができました。
「課題」展示事業の周知と、継続的な展示の実施をしていく必要があります。

○寿大学 45千円

高齢者が自ら意欲を持って、生きがいを見出せるように各種講座の実施、趣味活動を通じた仲間づくりを図りました。

- 一般教養コース 年10回
- 各種専門コース コースにより週1回～月1回
- 学級生 236名



社会見学



一般教養コース

「成果」一般教養コースでは講演会や社会見学などを開催し、「良い話を聞き、家族や孫を大切にしたいと思った」や「貴重な体験をすることが出来て良かった」など寿大学に参加して良かったという前向きな感想をいただいています。専門コースでは、親しい仲間を作ることで自主的な活動が増え、より楽しい人生を作り出すことに結びついています。

「課題」多様化する学習ニーズに対応するために事業内容の充実が必要です。

○青少年育成啓発事業 669千円

少年育成員を設置し、青少年の非行防止・健全育成を図るための活動を行いました。

少年育成員20名、夜間街頭指導:通年30回

子ども会のリーダー・育成者を対象に子ども会活動のあり方について研修を行いました。

3月14日(土)まなびタウンとうはく

参加者数:子ども 65名、大人 38名

「成果」幅広い住民参加・参画を得ながら、青少年の健全な育成を図ることができました。

「課題」青少年の課題は多岐に渡るため、関係機関協力体制の深化・改善によるより効果的な啓発事業展開が課題です。

○10秒の愛推進事業 213千円

10秒の愛実行委員と連携し、フォーラム等の10秒の愛啓発活動を展開しました。

2月15日 10秒の愛フォーラム(まなびタウンとうはく)参加者数:おおよそ230名

「成果」あらゆる世代を対象とした10秒の愛啓発を行うことができました。

「課題」家庭教育の支援としてより充実した内容で、より広い範囲の人々に的確に届くよう検討する必要があります。

○生活体験学校実施事業 521千円

放課後・週末に地域住民の参画を得て学習・体験活動を実施しました。

放課後子ども教室 76回

参加者延べ 1,287名

「成果」 地域の方の協力を経て、放課後・週末における、子どもの居場所づくりを図りました。

「課題」 放課後児童クラブとの関わりについて、検討が必要です。

○文化活動事業 927千円

地域で活動する個人・団体等の文化活動家の日頃の活動成果を発表する文化祭を、まなびタウンで開催しました。

実施日:11月1日(土)~3日(月・祝)

会場:まなびタウンとうはく

入場者数:延べ2,557人



町内芸能団体による芸能発表会を開催し、文化芸術の振興と団体間の交流を図りました。

実施日:11月23日(日)

会場:カウベルホール

入場者:出演者 186人、来場者 延べ369人

新たな文化活動者の確保及び団体活動の活性化を目的として、体験講座を開催しました。

文化活動体験講座開催団体 5団体 参加者 延べ109人

「成果」 文化祭を、まなびタウンで、出品者数も昨年とほぼ同様で実施できました。

文化体験講座なども合わせて実施でき、文化振興を図ることができました。

「課題」 文化活動を継続していくための後継者獲得・育成の場として、文化祭など文化活動者と町民とがふれあう機会を拡充していく必要があります。

○家庭教育支援推進事業132千円

家庭教育講座、乳幼児学級を開催し、子育てについての理解を深めました。

実施回数 11回(家庭教育講座)

参加者人数 延べ212名(家庭教育講座)

「成果」 多くの参加者に、家庭教育の重要性を啓発できました。

「課題」 講座に参加していない人達に家庭教育の大切さをどう伝えていくか検討が必要です。

○無盡庵管理 205千円

高齢者同士の交流、地域交流の場として提供するため、管理運営を行いました。

「成果」 利用者に事故なく、快く交流できる場を提供できました。

「課題」 他施設と連携した活用方法などの検討が必要です。

○地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 770千円

スクールガードリーダー 2名

巡回指導 303時間

「成果」 通学路を中心とした子ども達の安全を確保できました。

「課題」 パトロール活動実施のPR等により、見守り活動の必要性啓発を推進することが必要です。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	2 公民館費	47,935千円	47,562千円
担当課決算額				47,935千円	47,562千円

○公民館費 47,562千円

地域の特色を生かした学習活動の推進と住民の生活課題、地域課題に即応した学習支援を行いました。また、幅広く公民館活動を展開し、町民の公民館利用促進を図りました。

各公民館の利用状況

区 分	青少年団体		成人団体		女性団体		高齢者団体		その他団体		合 計	
	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数
八橋地区公	161	2,552	86	2,090	327	3,123	33	510	11	1,139	618	9,414
浦安地区公	108	1,372	296	3,721	10	108	144	1,518			558	6,719
下郷地区公	26	886	118	1,701	56	346	99	578			299	3,511
上郷地区公	42	257	2	29	18	157	55	460	106	1,332	223	2,235
古布庄地区公			62	1,221	41	338	62	550			165	2,109
赤碕地区公	69	1,444	64	910	276	2,126	199	3,349			608	7,829
成美地区公	73	1,867	104	2,095	52	425	51	614	106	2,151	386	7,152
安田地区公	8	230	79	1,384	204	1,597	120	931			411	4,142
以西地区公	46	1,071	17	224	47	326	65	551	40	739	215	2,911
	533	9,679	828	13,375	1,031	8,546	828	9,061	263	5,361	3,483	46,022

「成果」 身近な学習拠点として、地域学習活動の推進と学習を通じたコミュニティ形成を図りました。

また、公民館事業への必要課題反映度を高めるため、関係者の研修を推進し、研修成果を必要課題講座リスト「ことうらまなびリスト」としてまとめ、地域への提供を始めました。

「課題」 各種事業への地域課題等必要課題反映度の向上と、要求課題とのマッチングへの工夫、住民自らが学習活動を行う機運づくりの推進等、さらに工夫していく必要があります。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	3 文化財保護費	11,815千円	11,380千円
担当課決算額				11,815千円	11,380千円

○町内文化財保護事業 10,154千円

- ・町指定等文化財の管理に要した経費 333千円
- ・河本家住宅南側駐車場整備工事 508千円
- ・文化財防災設備事業補助金(転法輪寺本堂) 1,894千円
- ・無形民俗文化財補助事業 60千円
県指定「三本杉の盆踊り」町指定「逢束盆踊り」「以西おどり」を後世に継承保存するため、各保存会に対して補助を行いました。また、各種大会等に積極的に参加しました。
- ・全国民踊指導者講習会参加費補助金 180千円
- ・河本家住宅公開事業補助金 500千円
一般公開日 4月29日(火)～ 5月5日(月) 入館者 614名
10月11日(土)～ 10月17日(金) 入館者 377名
- ・神崎神社本殿保存修理事業費補助金 5,142千円
県指定保護文化財神崎神社本殿の桧皮葺屋根などの修繕に対して補助を行いました。



- 民俗資料館管理 112千円
 歴史民俗資料を児童等の学習教材等に利用して歴史等の学習に役立てました。また、資料館の見学者への説明や資料の整理・保存等を行いました。
 ・寺子屋古文塾(図書館共催)
 教育委員会所蔵の古文書等を活用した、古文書解説の講座を開催しました。
 開催日:1月17日、24日、31日、2月7日 受講者:延べ69名

- 大高野遺跡保存・活用推進事業 1,114千円
 - ・不動産鑑定委託料 495千円
 - ・大高野官衙遺跡シンポジウム
 10月6日に大高野官衙遺跡が国史跡指定となったことを記念して、町民等を対象に現地説明会を開催しました。
 参加数 130人
 シンポジウム出演・講師謝金 2名 1団体 250千円
 旅費等 158千円(文化庁主任調査官ほか2名) 大高野遺跡
 印刷製本費 シンポジウムポスター等印刷 103千円



「成果」 河本家一般公開や歴史民俗資料館企画展などを通じて、文化財の理解が深まりました。企画展は、大高野官衙遺跡が国史跡に指定されたことから全国の官衙遺跡のパネル展を行い、多くの方に来場して頂きました。
 「課題」 文化財や事業の積極的なPRが必要です。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	4 埋蔵文化財発掘調査費	18,778千円	18,734千円
担当課決算額				18,778千円	18,734千円

- 町内遺跡発掘調査事業 2,021千円
 個人の集合住宅建設に伴い、開発事業と文化財保護との調整を図るため、試掘調査を実施しました。また、赤崎台場跡の史跡指定に向けて、内容確認のため試掘調査を実施しました。
 個人の集合住宅建設事業 1件(双子塚遺跡)
 遺跡内容確認事業 1件(赤崎台場跡)
- 県道東伯野添線改修工事に係る埋蔵文化財発掘調査委託事業 16,713千円
 下伊勢第1遺跡 1,600㎡ 記録保存のための全面発掘調査
 「成果」
 赤崎台場跡は、1本のトレンチを設定して調査しました。4m以上の盛土がなされています。絵図に描かれている護胸壁、砲壇、往来跡の各土塁の段が確認できました。なお、今回の調査で確認出来た土塁の規模が赤崎台場跡の絵図に描かれている規模よりも小規模であったことから実際の台場の規模と絵図とは異なっていた可能性があります。
 下伊勢第1遺跡は、クロボク層を覆う灰白色砂層の上面から溝状遺構を11条検出し、灰白色砂層を取り除いたクロボク層の上面から新たに溝状遺構4条と畠状の区画16を検出しました。遺物は、弥生土器や土師器、須恵器などの土器が出土しています。また、クロボク層の下層からは縄文土器や石鏃、石斧などの石器が出土しました。遺物・図面整理及び報告書作成を行いました。
 「課題」
 今後、下伊勢第1遺跡は、周辺に広がることが考えられ、開発事業と文化財保護のための調査が必要になります。
 赤崎台場跡は、史跡鳥取藩台場跡の追加指定に向け、文化庁、県教委文化財課と協議が必要になります。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	5 生涯学習センター運営費	41,552千円	40,805千円
担当課決算額				41,552千円	40,805千円

○生涯学習センター管理費 40,805 千円
生涯学習施設として、町民等に学習の場の提供と施設の維持管理を行いました。
生涯学習センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延回数	88	159	127	107	104	127	126	150	133	162	147	148	1,578
延人数	2,034	6,845	3,341	2,531	3,135	2,923	5,011	3,932	2,674	3,311	3,146	3,343	42,226

「成果」 学習拠点として、幅広い研修の場として活用され、利用件数が増加しています。
「課題」 施設の効果的運用及び、長期的維持管理計画の検討が必要です。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	6 図書館費	38,033千円	37,163千円
担当課決算額				38,033千円	37,163千円

○人件費 25,641千円
一般職 2人(1人兼務) 嘱託 1人 臨時 10人(本館 8人、分館 2人)

○琴浦町図書館図書等購入費 5,690千円
本館(移動図書館車含む) 赤碕分館において、町民の利用に供するための図書等の資料を購入しました。

区分	本館	赤碕分館	計
図書等購入費	4,682千円	1,008千円	5,690千円
蔵書数	138,738冊	30,110冊	168,848冊
図書等資料貸出数	92,329冊	19,827冊	112,156冊

開館日数 本館291日、赤碕分館294日

○琴浦町図書館活動費 5,832千円
おはなし会や読書週間イベントなどを開催し、子どもたちが読書に親しむ機会を提供しました。
新聞、雑誌等購入し、利用者への資料提供を行いました。



おはなし会



七夕まつり

○移動図書館車巡回
移動図書館車による地域への本の貸出サービスを行い、利用者の利便性を図りました。
保育園・子ども園・小学校等 14ヶ所 部落等 21ヶ所 福祉施設等 7ヶ所

「成果」 暮らしに役立つ図書館を目指し、季節にあった企画展示を行いました。
読み聞かせ・ブックスタート等により、子どものころからの読書習慣の定着を図りました。
また、古文書講座を開催したりするなど、図書館を活用してもらえる取り組みをしました。
「課題」 図書館職員は、経験と司書資格のあることが大きく影響されるので、職員(正職員)の確保が必要です。また、図書館を活用していただくためのサービスや情報発信が必要です。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	7 カウベルホール運営費	14,592千円	14,591千円
担当課決算額				14,592千円	14,591千円

○カウベルホール運営費 14,591千円
 特定非営利活動法人 花本美雄文化振興会を指定管理者とし、管理に関する基本協定に基づいて管理運営を委託実施等行いました。

カウベルホール利用状況

月	ホール		ロビー		会議室		和室		計	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
4月	4回	360人			6回	52人			10回	412人
5月					4回	76人			4回	76人
6月	9回	1,215人	2回	400人	3回	66人			14回	1,681人
7月	8回	1,340人	2回	310人	6回	528人			16回	2,178人
8月	10回	880人	10回	920人	1回	10人			21回	1,810人
9月	3回	650人			2回	70人			5回	720人
10月	15回	3,145人	3回	200人	1回	60人			19回	3,405人
11月	6回	1,210人	3回	500人	3回	130人			12回	1,840人
12月	3回	505人	4回	195人	4回	110人			11回	810人
1月	7回	495人			5回	410人			12回	905人
2月	8回	1,130人			2回	68人			10回	1,198人
3月	9回	2,015人	1回	100人	3回	100人			13回	2,215人
合計	82回	12,945人	25回	2,625人	40回	1,680人			147回	17,250人

「成果」 指定管理者制度適用1年目ではありますが、直営時と比較して主催事業の開催回数が増加するなどの新しい展開が図られました。

「課題」 平成27年度で建設30年を迎えるため、照明・音響・空調など諸設備の維持が難しくなっており、長期的改修計画の策定等の対応が必要です。

また指定管理については、琴浦町で初めての公募型の指定管理制度適用事例であり、指定管理者制度適用施設モニタリング基本方針に基づき、活動状況を適正に把握・評価し、改善を進めていくことが求められています。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	最終予算額	決算額
		目	1 保健体育総務費	24,289千円	23,548千円
担当課決算額				24,289千円	23,548千円

○人件費 12,617千円
 一般職 2人

○一般管理 10,931千円
 社会体育に関する一般的な管理運営を行いました。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	最終予算額	決算額
		目	2 体育振興費	10,487千円	10,133千円
担当課決算額				10,487千円	10,133千円

○社会体育指導及び推進 1,807千円

◆スポーツ推進委員活動

心身ともに健康で明るい町づくりのため、スポーツ推進員の研修・活動を推進しました。

・スポーツ推進委員(27人)

・研修会

琴浦町スポーツ推進委員会定例会(琴浦町)	毎月(年12回)
中国地区スポーツ推進委員研修会(岡山県)	6月28・29日 参加者 11名
全国スポーツ推進委員研究協議会(岩手県)	9月25・26日 参加者 2名
東伯郡スポーツ推進委員研究大会(三朝町)	1月10・11日 参加者 16名

・スポーツ推進委員会主催事業

体力づくり教室(ストレッチ体操、スポンジテニス、バウンズボール)	9月18日～10月16日 毎週木曜日 5回 参加者 52人(4会場)
町民体力づくりウォーキング(上郷地区～小田股ダムを訪ねるコース)	11月3日(月)文化の日 雨天中止
体力づくりスポレク祭(スポンジテニス、バウンズボール)	2月15日(日) 参加者 90人

・その他

各地区公民館・町主催イベント・町内外駅伝大会・各種体操指導・小学校親子会等の事業協力を行いました。

「成果」心身ともに健康で明るい町づくりのため、スポーツ推進委員の研修を町内外で行い、研修成果を活かして依頼団体に合わせた指導・活動を行い好評でした。

「課題」子どもから高齢者まで、幅広くそのニーズに合った健康づくりとあわせた生涯スポーツ等を指導できるよう研修する必要があります。

担当制を取り入れるなどして、出席委員が同じ顔ぶれとならないように努めます。

◆スポーツ・レクリエーションの祭典

スポーツ・レクリエーションフェスティバルを開催することにより、ニュースポーツの紹介、普及を図り、町民の体力向上と親睦を進めました。

・スポーツ・レクリエーションin琴浦 6月1日(日) 参加者 72チーム

種目:バドミントン・グラウンドゴルフ・ソフトテニス・ソフトボール・ペタンク
バウンズボール講習&交流会・ノルディック・ウォーキング講習会

「成果」子どもから高齢者まで取組みやすいスポーツを選定し、町民の体力向上と親睦が図られました。

「課題」参加者が固定しつつあるので、啓発活動・種目の見直し等検討が必要です。

○郡・県・全国大会選手派遣 4,938千円

郡民体育大会、県スポーツ・レクリエーション祭、全国大会に参加する町代表選手の参加補助を行いました。

・郡民体育大会	参加者	1,310人(大人833人・子ども477人)
・県スポーツ・レクリエーション祭	参加者	107人(大人)
・各種全国大会	参加者	80人

「成果」郡民体育大会において、常日頃の練習の成果として、男子5年連続優勝、女子は不出場種目もあり3位でした。サッカー競技においては、少年C、少年B、成年と3部門に渡って優勝し、少年期からの育成指導の成果が出ました。

「課題」今後に向け各年齢層、競技人口が減少傾向にある種目(バレー、バスケット)などの強化育成が必要です。



○町体育協会育成及び各部奨励 2,167千円

体育協会の主催する各種スポーツ大会及び教室活動を支援し、より一層のスポーツ振興を図りました。

・町体育協会事業

事業名	開催日	参加人数
春季ゴルフ大会	4月6日	36人
春らんまんソフトバレー大会	4月6日	24チーム
体協グラウンドゴルフ赤碕大会	5月16日	120人
春季ゲートボール大会	5月16日	18人
町長杯卓球大会	5月17・18日	93チーム
ナイター野球リーグ戦	5月17日～10月11日	17チーム
体協グラウンドゴルフ東伯大会	5月30日	151人
スポーツ・レクリエーションin琴浦 (ソフトボール) (バドミントン) (ソフトテニス) (グラウンドゴルフ) (ペタンク) (ハウスポール講習&交流大会)	6月1日	 6チーム 10チーム 8チーム 44チーム 4チーム 19人
春季テニス大会	6月15日	16人
夏季ゴルフ大会	7月21日	32人
駅伝競走大会	9月21日	71チーム
秋季ソフトボール大会	9月28日	7チーム
秋季ゲートボール大会	10月10日	13人
秋季テニス大会	10月12日	16人
バスケットボール大会	10月19日～12月21日(毎週日曜日)	17チーム
秋季ゴルフ大会	10月19日	34人
総合バドミントン大会	11月16日	11チーム
銃剣道大会	11月23日	中止
剣道大会	11月23日	中止
ソフトバレー大会	11月30日	28人
9人制バレーボール大会	12月7日	6チーム
元旦マラソン&ウォーキング大会	1月1日	中止(雪)
武道館鏡開き	1月4日	70人
新春フットサル大会	1月12日	19チーム
キッズサッカーフェスティバル	2月21日	21人
卓球大会	3月1日	27チーム
柔道教室	4月13日～3月29日(毎週土曜日)	8人
陸上教室	4月12日～3月28日(毎月第2、4土曜日)	16人
水泳教室	6月16日～8月8日(毎週月・水・金)	70人
ソフトテニス教室	8月23日～10月4日(毎週土曜日)	16人
テニス教室	8月20日～10月8日(毎週水曜日)	8人
スキー&スノーボード教室	1月8日	16人
キッズサッカースクール	2月21日	25人
小学生相撲教室	3月26日～4月23日(毎週水曜日)	5人

「成果」 体育・スポーツ競技の功績をたたえ体育協会表彰を行っています。今年度は、灘尾 遼さん(全国高校総体弓道団体優勝)・福田裕樹さん(全国障がい者スポーツ大会卓球準優勝)他多数の全国大会入賞者がありました。

体育協会の各部主催の事業を補助し、より一層のスポーツ振興が図られました。

「課題」 各種大会において、他行事等と重なり参加者の減少となった大会がありました。開催時期等の検討が必要となっています。

・町スポーツ教室

第19回琴浦町スポーツ教室交流会(野球) 12月7日(日)＜東伯中体育館＞
 広島東洋カープの野球選手の白濱裕太氏(捕手)、中村恭平氏(投手)、土生翔平氏(外野手)を招き、野球教室を実施しました。

「成果」 プロ野球選手と交流することにより、技術力のアップ・スポーツに対する姿勢などを学び、今後のスポーツ少年団活動、また学校生活等多いに役に立つ場となりました。

「課題」 招聘するプロ選手の競技種目に偏りがあるため、魅力ある講師の選考が必要となっています。

・駅伝大会参加

中部地区駅伝・米子鳥取間駅伝と、選手の皆さんの団結と練習成果により、優秀な成績が残せました。

第68回中部地区駅伝競走大会 9月14日
 市町の部 準優勝(出場10チーム) 一般の部 準優勝(出場4チーム)
 第69回米子・鳥取間駅伝競走大会 11月8・9日
 出場:郡市町の部10チーム 成績:郡市町村部 準優勝

「成果」 米子～鳥取間駅伝は、町内中・高生を交え、世代交流したチーム作りをし3チーム出場しました。駅伝の楽しさ等練習を踏まえ伝授しています。

「課題」 選手の年齢層が高くなり、若年層の選手育成が課題となりつつあります。



町駅伝後の尾崎さんランニング教室

○ガイナレ鳥取・琴浦町ホームタウンデー推進事業 56千円

ガイナレ鳥取ホームタウンデーにおいて、町内から観戦者の動員を図るとともに、県内外から会場に訪れた観客に対し、琴浦町のPRを行いました。

また、ホームタウンデーの事前イベントでは、ガイナレ鳥取の選手を迎えて小学生を対象としたサッカー教室と復活公園遊びを行いプロ選手とのふれあいの中で、体を動かす楽しさを体験しました。

- ・ 5月31日(土) サッカー教室・復活公園遊び 参加者50人
- ・ 6月8日(日) ガイナレ鳥取 対 YSCC横浜 観客 2,396人

○琴浦でアーチェリー推進事業 188千円

2012年のロンドンオリンピックに出場した川中香緒里選手の活躍を機会に、アーチェリー競技を琴浦町で盛り上げようと、アーチェリー教室を2期開催しました。

- ・参加者 9人

○スポーツ少年団育成強化 977千円

スポーツ少年団活動支援を通じて、少年団の心身ともに健全な育成を図りました。

団名	団員数	活動日
琴浦野球	24人	毎週 月・水・金
赤碕野球	19人	毎週 月・水・金・土
八橋バレーボール	10人	毎週 火・木
浦安バレーボール	11人	毎週 月・木・土
東伯バレーボール	12人	毎週 火・金
赤碕SHIPSバレーボール	32人	毎週 火・木・土
琴浦ミニバスケットボール	41人	毎週 月・水・土
東伯バドミントン	24人	毎週 火・木・金・土 [中学生]月
琴浦卓球	52人	毎週 火・木・土
東伯サッカー	29人	毎週 水・金
成美サッカー	25人	毎週 月・水・金
東伯剣道	17人	毎週 月・水・金
赤碕剣道	20人	毎週 月・水・金
琴浦空手	25人	毎週 月・水・金
琴浦相撲	2人	毎週 水

「成果」 体を動かす事の楽しみや、喜びを知り基礎的な運動能力や運動習慣を身につけ、生涯にわたりスポーツを楽しむ基盤となっています。

「課題」 スポーツを通じた心身の健全育成を図るため、保護者及び指導者と連携を強化することが必要となっています。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	最終予算額	決算額
		目	3 体育施設費	32,244千円	30,897千円
担当課決算額				32,244千円	30,897千円

○社会体育利用施設管理 545千円

町民が利用する、社会体育施設の維持管理を行いました。

(東伯総合公園・赤碕総合運動公園・農業者トレーニングセンターは除く)

各施設モップ交換

○平岩記念会館管理運営 1,208千円

青少年が宿泊研修できるよう管理運営を行いました。

エアコン設置、風呂給湯器取替、障子・ふすま張替え、フローア・シャワー栓修繕

施設利用状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	85	35	223	238	177	450	82	115	194	96	146	93	1,934

○総合公園管理 14,106千円

東伯総合公園の維持管理を行いました。

野球場照明交換、野球場トイレ洋式化(2ヶ所)

施設利用状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	3,606	4,409	4,637	3,633	3,275	6,086	4,387	3,427	2,070	2,164	2,881	2,446	43,021

○農業者トレーニングセンター運営 5,426千円

町民のスポーツの普及・振興・健康づくり事業の開催並びに、施設の維持管理を行いました。

事務室エアコン設置、非常用照明器具取替、防球フェンス塗装、卓球フェンス購入

施設利用状況 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,505	1,523	2,038	1,620	701	2,411	1,623	6,962	894	1,250	1,139	1,246	22,912

○赤碕総合運動公園運営 8,538千円

赤碕総合運動公園の維持管理を行いました。

野球場BS表示交換、野球場トイレ洋式化(2ヶ所)、スコアボード階段塗装、テニス人工芝修繕

施設利用状況 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	799	1,440	1,733	805	794	1,245	1,579	654		11	22	666	9,748

※12月～2月は休園(テニスコートのみ使用可能)

○勤労者体育センター管理運営事業 1,074千円

勤労者体育センターの適切な管理運営を行い、利用者の健康増進を図りました。

東伯ハンガー戸修繕、東伯ガラス修繕

施設利用状況(赤碕) (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	162	302	172	180	161	102	137	124	60	222	200	295	2,117

施設利用状況(東伯) (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	769	763	910	975	908	912	936	924	829	1,060	760	796	10,542

「成果」 スポーツ施設の拠点として、町内外の利用者に喜ばれるよう維持管理を行いました。

- ・町スポーツ教室(総合体育館会場・農業者トレーニングセンター会場)から、自主グループもでき、体力づくりの和が広がっています。
- ・廃校になった旧小学校体育館の利用もあり地域での健康づくりが行われています。

「課題」 各施設の老朽化により、修繕箇所も多くなり、施設管理が増加しています。



款	9 教育費	項	2 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	1 社会教育費(繰越明許)	512 千円	511 千円
担当課決算額				512 千円	511 千円

○青少年体験学習事業 511千円

ことら子どもパーク運営委員会に、ものづくり等体験教室「ことら子どもパーク」開催を実施委託し、地域住民の手による子どもたちのものづくり体験活動の推進を図りました。

20回開催(草木染め、七宝焼き、科学実験、フラワーアレンジメント等)

参加者数 延べ322名

「成果」 地域の方の参画を経て、子ども達と地域の方の親睦を図れました。

「課題」 教室内容の充実のため、新たな人材の発掘を進めて行く必要があります。

